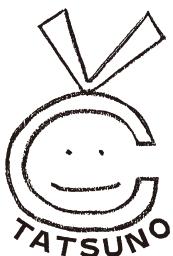


回覧

ボランティア情報紙



福寿草

令和3年10月 第310号



発行:社会福祉法人辰野町社会福祉協議会・辰野町ボランティアセンター・情報紙編集委員会 TEL.41-5558

被災された方の笑顔を取り戻す活動

令和3年8月前線による大雨災害 災害ボランティア活動へのご協力ありがとうございました

8月15日に発生した大雨災害により町内各地で浸水や土砂が流れ込む被害が起きました。辰野町と辰野町社会福祉協議会では、コロナ禍のため、町内の中学生以上を対象にボランティア協力を呼びかけました。ボランティア活動は8月19・20・21・22・28日の5日間行われ、個人・団体の多くのみなさんにお協力いただき、被災された方の笑顔を取り戻すことができました。

ありがとうございました。



ボランティアに参加した大学生の感想

ニュースで土砂災害による被害が辰野町でも多く発生していると知り、地元の力になりたいと感じ、ボランティアに参加しました。災害ボランティアに参加したのは、今回が初めてでした。

私は、横川川の上流にある民家の土砂の撤去作業に参加しましたが、被害に遭ってから1週間後の作業であったにも関わらず、土砂は軽トラックで何往復もしなければならないほど残っていました。家主さんに見せていただいた災害時の映像は悲惨なもので、一時は膝の高さまで土砂が積もる箇所もありました。これらの土砂もボランティアの方々の協力の甲斐もあって全て運び出すことが出来ました。

災害ボランティア活動には町民に限らず、他の地域からも老若男女問わず多くの人が参加しており、今回の活動を通して、改めて地元の心の温もりや優しさというものを感じることが出来ました。

赤羽風吾

やさしさありがとうございます

「ボランティアしたいんだけど、もう歳で、泥だし作業は出来ない…ごめんね。泥だし以外で出来ることがあれば言ってね。」そう言って下さった方も大勢いらっしゃいました。その気持ちが、うれしかったです。

次ページは、スイカの差し入れをして下さったボランティアさんの想いです。

猛暑の日にうれしかったスイカの差し入れ
◆ありがとうございました◆



8月28日、この日は暑い中での作業となりました。15分おき位に水分補給と休息をしましたが、昼食休憩時には、ボランティアさんにだいぶ疲れがみえました。冷えたスイカの差し入れでみなさんに元気と笑顔が戻りました。



食べやすく一口大にカットして、一人分ずつ袋詰めされていました。

スイカの差し入れをして下さったボランティアさんの想い

私が災害にあった被災者支援のほかに重要だと感じたのは災害ボランティアに参加した方々への支援です。私は地域おこし協力隊で町内のお試し加工所「まちのキッチンおかげ」を運営していましたこともあり、炊き出しなど何か「食」に関わる分野で被災した方やボランティアの方々を支援することができないか?と自問自答し、社協に食べ物を提供する支援の申し出をしました。コロナ禍において炊き出しなどの調理行為が困難であったこともあります、おにぎりを加工所でつくるて提供することを考えていたところ、おにぎりは暑い日だと食中毒のリスクもあるため、それよりも熱中症予防に水分たっぷりのスイカをカットするだけの提供のほうがいいということになりました。神戸のスイカ祭りを終えて畠に転がっていた小玉スイカを見つけて生産者の方(上島純正さん)にスイカの寄付を提案しました。販売はできないけど無償で提供なら構わない、という賛同を得て、おかげで2名のボランティアの方と一緒にスイカをカットして袋詰めにして災害ボランティアに差し入れをすることにしました。社協には快く申し出を受け入れていただき、当日にスイカを冷やした状態で配布してくださったことに感謝しています。また残った丸のスイカは被災したご家族の方々に暑い中での復旧作業の合間に食していただくよう手渡してきました。

地域で助け合う繋がりを大事にしたいと考えています。神戸のスイカも本来であれば畑の肥やしになってしまっただけでしたが、こうして喜んで美味しく食べてもらえたことに生産者の方も喜んでいただけたこと、三方良しの取り組みができたと感じています。

地域おこし協力隊 秋山久子

辰野町ほたるの里 世代間交流センター

茶の間

通信 84

TEL / 0266-41-2180
FAX / 0266-41-2187
月～土・9:00～20:00

マスクの下もにっこり
笑顔、忘れずに



- 茶の間ギャラリー 10月初旬～10月30日(土)

にこ 和の会「絵手紙展」



- ぬり絵サロン 10月 1日(金) 10:00~11:30

- オレンジカフェ 10月13日(水) 10:00~12:00

- 折り紙サロン 10月15日(金) 10:00~11:30

◆毎週金曜日と土曜日の13:00~20:00は婚活サポート結婚相談日

◆婚活サポート結婚相談のご予約は月曜日から土曜日、随時承ります！

お気軽にご連絡ください！

専用携帯番号 090-5431-7552



※上記の予定は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等により変更・中止になる場合がありますので、ご了承ください。

JRC クラブの活動

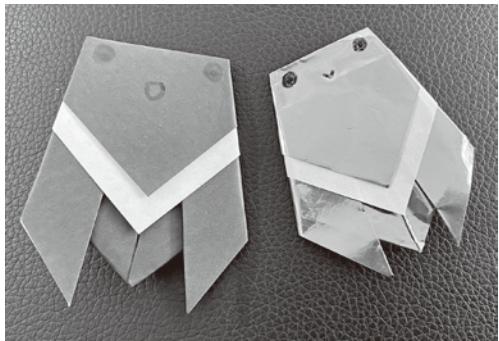
辰野高等学校 JRC クラブ

今年度は元気な1年生6名と2年生3名を迎え、合計12名で活動スタートとなりました。人数が増え、生徒たちのボランティアへの熱意も有り余っています！そんな部員たちの思いとは裏腹に、昨年から状況が変わらないコロナ禍の影響で思うように活動ができていないのが現状です…。

“接触の機会を減らす”ことを求められる世の中で、「地域に貢献できるボランティア活動」を目標にしている辰野高校 JRC クラブは、どのような形でならお役に立てるのかと、みんなで案を出し合いながら日々の活動を行っています。

現在活動を行わせていただいているのはこのふたつ！

①辰野図書館 おりがみ教室のお手伝い



※セミです

町立辰野図書館で毎月第2土曜日に行われているおりがみ教室のお手伝いをしています。

季節に合うおりがみを探し、練習を重ねて当日は来館した子どもたちに教えています。

習得の早い子どもたちの要望に応じて、急きょ違うおりがみを教えることになることも！スマートフォンとにらめっこして、冷や汗をかきながら教える部員ですが、子どもたちの「できた～！」の声とマスク越しの満面の笑みに、ボランティアの喜びを感じています☆

②カレンダー制作と配布

部員がイラストを書いたオリジナルカレンダーは、1枚ずつ色鉛筆で彩色しています。

これは、創部以来30年以上続いている伝統的な活動です。カレンダーは、町立辰野病院や近隣の保育園、ボランティアセンターなどにお配りし、辰野病院では、入院している患者さんのベッド1台ずつに貼らせていただいているます。

部屋がぱっと明るくなるようなカレンダーブックをこれからも頑張ります♪



お知らせ掲示板



お問い合わせ・お申し込みは

辰野町ボランティアセンター

〒399-0426 長野県上伊那郡辰野町宮木城前 2674-1

TEL (0266) 41-5558 FAX 41-3922

平日午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

e-メール volunteer@tatsunomachi.jp

ご意見・ご感想をお寄せください

大型アルミ収集 収集結果のご報告

8月28日に行った大型アルミ収集では

アルミ缶：85kg

アルミサッシ：40kg

アルミ製の鍋等：15kg

ステンレス類：5kg

が集まりました。

ありがとうございました。



ボランティア情報紙“福寿草”を
ご希望の方は辰野町ボランティアセンターにありますのでお気軽にお出かけください。

にゃんボラン

No. 190 作・一本懶 渡



お問い合わせ・お申し込みは

辰野町ボランティアセンター

〒399-0426 長野県上伊那郡辰野町宮木城前 2674-1

TEL (0266) 41-5558 FAX 41-3922

平日午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

e-メール volunteer@tatsunomachi.jp

コロナに負けない!! ボラセン秋まつり月間

今年のボランティアセンター秋まつりは新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、通常の秋まつりの内容の一部を秋まつり月間として行います。

詳しくは、新聞、チラシ等でお知らせします。



「音手紙ほのぼの」秋号 CD をお届けします

音手紙秋号の礎シリーズは、「蛍 ホタル」が主人公です。

「ほたる祭り」が町で一大祭りになるまで発展した歴史、尽力された方々、創作話、歌など取り上げ「ホタルの灯の里 辰野町」という内容のCDです。音手紙ほのぼのは、70歳以上でご希望の方には無料でCDをお渡しします。

CDは返却不要です。

申し込み・問い合わせは

辰野町ボランティアセンターまで



第4回 フードドライブ実施のお知らせ

辰野ライオンズクラブでは食品ロスの削減と資源の有効活用、生活困窮者支援を目的として“フードドライブ”を実施します。

受付日時：10月11日(月)～10月15日(金)

8時30分～17時15分

受付場所：辰野町ボランティアセンター

下記の条件に当てはまるものをご寄付下さい。



「常温保存可能」「消費期限が明記され1ヶ月以上あるもの」「未開封」「包装や外装が破損していないもの」「自家製ジャム・漬物は対象外」

◆お米（新米と前年度の米のみ）

◆レトルト食品（カレー・炊き込みご飯の素・パスタソースなど）

◆インスタント食品（ラーメン・スープ・カレールーなど）

◆乾麺・乾物（そば・そうめん・パスタ・乾燥わかめ・海苔など）

◆調味料（砂糖・塩・ケチャップ・マヨネーズなど）

◆缶詰（ツナ缶・フルーツ缶・トマト缶など）

◆お菓子類（スナック菓子・せんべい・飴など）

フードドライブは、家庭利用されずに眠っている食料を持ち寄っていただき、食料を必要としている方（収入が不安定な方、社会福祉施設や子どもカフェなどの支援団体等）の生活支援に役立てる活動です。

次回の
つぶやきは
唐澤峰子さん
です。

妹は覚えて
いるだろうか?
今度聞いてみよう!
(^)

荒井佳世子

楽しかった!
ひとコマを思い出した。

オリンピックといえば…」第1回目の東京オリンピックの時、私が小学校5年生、妹は小学校2年生でした。かけっこが速かった妹は表彰式を見ていて急にしゃば台に飛び乗り、「私もオリンピックに出て金メダルを取る!」と言った練習を始めた。私は、今は亡き母に握りこぶしのマイクをむけ、「お母さん、喜びの声を！」と家族で大笑い!懐かしいひとコマを思い出した。



つ
ぶ
や
さ